

第14代別當に 金子日厚猊下就任



清澄

就任のご挨拶

大本山 清澄寺 第14代別當

金 子 日 厚

令和元年6月27日、日蓮宗宗務院総長室長様から清澄別當職をお願い出来ないかと、大変身に余る光榮なるお話しを頂きました。

直前、別當様は二宮日敬猊下。日蓮宗第53代管長身延山久遠寺法主内野日総猊下に辞令を賜り9年の永きに渡りお仕えをされ本院の新築を初め数多くの功績を残され、この度、辞任をされました。

その後任にと。私は誠にその器に非ず身の丈より高い地位とお断り申し上げたのですが、清澄山は誠に不思議なお山、さすがに1200年の歴史を誇る名刹。此の度、日蓮宗第54代管長にご推戴されました。

大本山池上本門寺貫首菅野日彰猊下であられます。私が子供の頃よりお世話になり60年の

御参席を頂き管長猊下から辞令を賜りました。
誠に責任の重さを感じますが、私が中山遠壽院初行の時に訓示を頂き爾來私淑して止まない石川浩徳先生の執筆された文に「清澄は日蓮宗宗門の原点である」と。そのお言葉を旨としてお題目の途絶える事のない大本山千光山清澄寺をお守りして参りたく夢を持ち全国からお参り頂く御寺院、檀信徒の皆々様、外郭団体のご信徒の皆々様に常に「微笑みと合掌」をもつてお迎え申し上げ、お待ち申し上げます。

どうか今後益々清澄山に物心両面のご尽力を賜りますよう衷心より伏してお願い申し上げ就任の挨拶とさせて頂きます。

令和元年7・8月
合併号
発行所
〒299-5505 千葉県鴨川市
清澄322-1
◎清澄寺
TEL 04 (7094) 0525 番
FAX 04 (7094) 0527 番
振替 00140-5-55501
印刷所
天津(有)ブラザーアイントン
送料共1部100円

お知らせ

9月

- 13日 14:00 虚空藏菩薩大祭
20~26日 彼岸会
27日 19:00 信行会(唱題行)

10月

- 27日 14:00 お会式
27日 19:00 信行会(唱題行)
28日 5:40 晓天法要

きよすみ

別當職退任のご挨拶

大本山清澄寺

第13代別當 二宮日敬

虚空蔵菩薩大祭
「日本第一の智者となし給へ」
宗祖祈誓

9月13日厳修

令和と世が改まった年、お題目始唱の聖地清澄寺別當を辞し、去る七月十一日に御宝前において離任式を挙げました。続いての新別当には金子元彦上人が就任され、法燈のさらなる盛運が期待されます。

顧みますと、平成二十二年に内野日総管長猊下、さらに菅野日彰管長猊下から別當職を拝命し、九ヵ年もの長期にわたり、聖地での重任を果たさせて頂きました。この期間は、日蓮聖人が身延にご在山された九ヵ年に相当するものと思うと、まことに意義深く感激する次第です。

別當在任中、「南無妙法蓮華經」のお題目流布の所願を遂げるために、僧俗ともに万般にわたるご支援、ご厚情を賜りましたことを、深く感謝申し上げます。別當として清澄山の聖域に臨んだ時、本院の荒廃に心を痛めて復興を誓い、各方面に勧募を懇請しました。幸いにも、この願意に応えて多分の財施を戴いて輪奐の美を整え、平成二十九年四月の立教開宗会にあたり、清澄寺本院の落慶式を挙行することに至りました。

日蓮聖人御生誕八百年の佳辰を明後年に迎え、大聖人のご誓願をいまこそ新たにする時と存じます。

ここに法華經の廣宣流布と信力増進を祈り、清澄寺に更なるご厚情をお願い申し上げ、略儀ながら別當退任のご挨拶といたします。
南無妙法蓮華經

当日は、午前8時より随時特別祈祷が行われ、14時から金子別當御導師のもと、虚空蔵菩薩の御前において法要を営みます。
平成24年より、仏様とより深く縁を結ぶようにと「お手綱」の準備をいたし

てあります。

又、普段はお開帳をしましても、御簾(みす)が垂れておりますが、大祭当日は御簾を外しますので、虚空蔵様のお姿がはつきりと拝む事が出来ます。

是非、ご参拝下さい。



令和元年度第2回度牒交付式が、8月5日から6日にかけて開催されました。今回、全国各地の寺院から43名の度牒生と付添者が来山されました。

1日目は「祖伝法話」が蓑輪顕寿師（龍藏寺住職）により行われ、度牒生、付添者が日蓮大聖人についての法話を拝聴。度牒生はその後仏前所作や読経テストを行いました。

度牒生一人一人に輪袈裟と証書が手渡され、度牒生代表の発音により、全員で仏道修行への邁進を仏祖三宝にお誓い致しました。

企業の 新入社員研修

▼SCSK株式会社

第1組 4月4～5日

142名

第2組 4月8～9日
143名

令和元年度 第2回 度牒交付式

▼株式会社ベリサーブ
4月9～10日 35名

▼昭和アステック株式会社
5月30～31日 23名

▼株式会社エー・エス・イー
6月20～21日 54名

当山を会場に、各企業の新入社員研修が行われました。

4月に入社した新入社員の方々には、1泊2日にわたりて清澄寺で行われる研修を通して、自己を見つめ、

会社にとっての自分というものの存在を明確にすることを目的としています。

2日目には清澄寺の本山朝勤に参列され、日の出前の起床と、慣れない正座やお経に苦心している様子でしたが、短い研修期間の中で、率先して行動し、互いに協力し、一生懸命に取り組む姿は初日とは見違えるものとなりました。

尚、企業の新入社員研修、また各種研修を受け入れております。詳細は当山までお問い合わせ下さい。

**企業の
新入社員研修**

今年の夏は、梅雨明けも遅く、冷夏かなと思つておりましたら、梅雨明けと同時に、全国的に猛暑の連日でした。

7月31日より、金子新別当様がご就任なされました。当山の山務体制は変わりませんが、別当様の御言

ト、翌日の交付式の予行演習、当山山務員による縁起説明と摩尼殿開帳を受け、夜は布教隊による法話などハードなスケジュールをこなしておりました。

交付式当日は曇り空でしたが、旭が森にて御来光を拝むことが出来、午前5時30分より中川法政宗務総長を大導師に、度牒交付式が執り行われました。

度牒生一人一人に輪袈裟と証書が手渡され、度牒生代表の発音により、全員で仏道修行への邁進を仏祖三宝にお誓い致しました。



『本堂五具足修復完成』

本堂（摩尼殿）の五具足がかなり傷んでおり、当山檀家市原市田仲正道様の御丹精により、修復が完成いたしました。心より御礼申し上げます。

また、金蓮華の常花は、当山宮崎執事長（勝浦市真福寺）よりご奉納をいただきました。祖師堂の経机などまだまだ修復はござります、皆様の御丹精をお待ち申し上げております。

葉の中に「微笑みと合掌」と山務員、職員と心がけてまいる所存であります。是非、当山の御参詣をお待ち申し上げております。

9月のお彼岸の時期に入ろうとしておりますが、まだ蒸し暑い日が続いております。

どうか、お身体をご自愛下さい。